

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス町田駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1.利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	42.9%	42.9%	14.3%	利用人数とスペースを考慮したトレーニング内容を検討している。 児童発達支援との多機能型施設ため手狭に感じるが、療育の内容や机の移動などによりスペースを有効に活用できるようにしている。	スペース利用の工夫を継続していく。
	2	2.利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	85.7%	14.3%	0.0%	発達に合わせて、配置する人員を調整している。 その日の子どもに合わせて対応する職員を変え、目が行き届くよう工夫している。	引きつづき、臨機応変に対応し、子どもたちが安全に過ごせるようにしていく。
	3	3.生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	85.7%	0.0%	14.3%	子供たちが理解しやすく、刺激が少なくなるように、必要なものだけ設置している。	無駄なものはないか等、隨時点検して配慮していく。
	4	4.生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	85.7%	0.0%	14.3%	毎日の清掃を実施している。また、安全に配慮しながら教室のどのスペースを使用するとスムーズに活動できるかなど、検討している。	継続していく。
	5	5.必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	71.4%	28.6%	0.0%	落ち着く部屋を設置したり、見学スペースを設けたりしている。 危険なものを置かないようにしている。	クールダウンスペースの設置等で対応しているように、限られたスペースではあるが、隨時柔軟に対応していく。
	6	6.業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%	タ礼がある	
	7	7.保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者の意向があった際には、職員間で共有して改善策を話し合っている。	
	8	8.職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	月1会議、朝礼・タ札、管理者との面談などが設けられている。	
	9	9.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14.3%	42.9%	42.9%		会社の方針と思われるが、現状は、第三者機関による外部評価は入れていない。 業務改善のために、今後検討したい。
	10	10.職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	85.7%	0.0%	14.3%	頻度は多くないが実施されている。 新人研修は充実している。 本部研修に出席ができるように、業務時間等配慮していくことを検討したい。	凸凹本部の研修の活用や、外部講師の研修等も検討したい。
業務改善	11	11.適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	発達の段階に合わせたプログラムを企画し、保護者にも内容や様子を共有している。 面談にて保護者と事業所との共有をしている。	
	12	12.個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	さまざまな視点からアセスメントをして、保護者から聞き取った課題に合わせた目標を設定している。	
	13	13.放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮	100.0%	0.0%	0.0%	職員全体で共有して検討している。 担当者会議をしている。	

適切な支援の提供	14	14,放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	当日のトレーニング内容を共有して、直近の利用者の様子や、その時の課題など、狙いをもって支援している。夕礼等でも共有している。	
	15	15,子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する。	100.0%	0.0%	0.0%		
	16	16,放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支	100.0%	0.0%	0.0%		
	17	17,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	リーダーが立案した後、共有して細かな点を検討している。	
	18	18,活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	一週間の配置にしている。視覚、粗大、微細、言語指示など、満遍なく取り行っている。 曜日の担当者をきめている、本部のテーマをみて決めている。複数曜日利用の子どもがいる時には配慮している。	
	19	19,子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	85.7%	0.0%	14.3%		1人で取り組む課題と、グループで取り組む課題を、バランスよく取り入れたトレーニング内容を心がけた上で、計画を作成している。
	20	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	トレーニング内容や狙いを共有し、リーダーとサブ、サブ同士が連携しながら支援している。 活動前に共有している。	
	21	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	夕礼でその日の様子を共有している。	
	22	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	専用のシステムに記録している。	
	23	23,定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	85.7%	0.0%	14.3%	個別支援計画の前にモニタリングを行い、保護者に共有して、目標を更新している。	6か月ごとのモニタリングは必ず行っているが、現状と個別支援計画書とのズレが認められた場合は、隨時見直しを行っていく。
関係機関等	24	24,放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	71.4%	14.3%	14.3%		地域交流は現状できていないが、必要に応じて検討する。
	25	25,子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	85.7%	0.0%	14.3%	目の前にいる子どもの気持ちを常に最優先に考えて関わっている	自己決定の範囲等、難しいケースは職員で検討し、自己決定する力を育てられるように、支援している。
	26	26,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	85.7%	14.3%	0.0%	相談支援事業所がない為難しいが、他事業との連携は必要と考える	相談支援事業所に入っている利用者については、担当者が出席するように配慮する。
	27	27,地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行いう体制を整えているか。	85.7%	0.0%	14.3%		引き続き必要に応じて連携していく。
	28	28,学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	57.1%	28.6%	14.3%		送迎がない為、今のところ必要性はあまりないが、必要があれば検討していく。
	29	29,就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	71.4%	28.6%	0.0%	必要に応じて実施している。	児発から継続している利用者以外の利用者に関しては、必要に応じて検討したい。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	30	30,学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	85.7%	0.0%	14.3%		今後、該当の利用者がいた場合は隨時行っていきたい。
	31	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57.1%	28.6%	14.3%		必要に応じて、今後は積極的に行っていきたい。
	32	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14.3%	71.4%	14.3%		現状必要性は感じていないが、今後必要に応じて検討していく。
	33	33,(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	28.6%	57.1%	14.3%		現状は機会がないが、どのような要望があるかはまとめておき、要望の伝達を依頼する等の形で参加できれば良いと思う。
	34	34,日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者に連絡が必要と判断した場合には、当日、遅くとも翌日の午前中には一報をいれている。送迎時に、日頃の様子を聞き取ったり、活動中の様子を伝えたりすることもある。 送迎時やLINEにてお伝えしている。	いつでも必要に応じて面談を受け付けているが、保護者にあまり周知されていないため、気軽に申し込んでいただけるようにしていきたい。
	35	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	42.9%	42.9%	14.3%	家族の対応力の向上については、面談、送迎時に、必要に応じて行うようにしている。	家族の対応力の向上については、面談や送迎時にお伝えできているケースもあるが、研修を今後検討していきたい。
	36	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
保護者への説明責任等	37	37,放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	面談を実施している。	現状は保護者の意思と課題をもとに立案していることが多いため、子どもの意思の確認については、今後どのように聞き取りをし、反映していくか検討したい。
	38	38、「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	39	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	要請があった場合には実施している。 保護者の相談したい時に、電話や直接来訪してもらったりと悩みを共通理解し、家族支援をおこなっている。 面談や送迎時に。	
	40	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	28.6%	57.1%	14.3%		今後開催を検討していきたい。
	41	41,子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	71.4%	0.0%	28.6%		事業所内の苦情の窓口について、保護者に十分周知されていないと思われるため、周知を徹底する。 また、苦情があった際には、迅速に対応していきたい。
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ブログや予定表を前の月の2週目に送っている。	
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	44	44,障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	一方的にならないよう、相手に伝わったことを確認している。	

	45	45.事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	28.6%	71.4%	0.0%		住宅地ではなく繁華街にあるため、必要性は今のところ感じられないが、必要に応じて検討していく。	
非常時等の対応	46	46.事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	研修を実施している。		
	47	47.業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	研修を実施している。 年に2回防災訓練週間がある。 研修を実施している。		
	48	48.事前に、服薬や予防接種、てんかん发作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に2回防災訓練週間がある。		
	49	49.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71.4%	14.3%	14.3%	参加希望票の提出を必須とし、必ず保護者に確認を取っている。	食べ物イベントの際には、事前に保護者に原材料等を周知して、参加表の提出を徹底している。"	
	50	50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%			
	51	51.子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.7%	0.0%	14.3%		安全計画を入口に掲示している。	
	52	52.ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	書類とタ札にて共有。		
	53	53.虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	研修を実施している。		
	54	54.どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	特に可能性があるお子様には送迎時に説明	個別支援計画書には、記載をしているが、可能性のある子どもの保護者には、事前に説明をするようにしていく。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。